

～世界から期待され、世界をリードする JIPA ～



一般社団法人日本知的財産協会



効率的な知財活動のためのグローバル ドシエの現状調査と課題への活動

情報システム委員会 第1小委員会



2017年度 第1小委員会 メンバー

横山 友里	キヤノン株式会社
伊藤 智恵	大塚製薬株式会社
中馬 真子	パナソニック株式会社
梅本 信一	ウシオ電機株式会社
菊池 康史	東芝IPRソリューション株式会社
三井 雄士	本田技研工業株式会社

(敬称略、委員五十音順)





発表内容

1. 研究の背景
 - 1.1. 活動内容
2. グローバルDシエサイトの使用の実状に関する調査
 - 2.1. アンケート概要
 - 2.2. アンケート集計結果
 - 2.3. 活用事例
3. 現行サイト利用における課題・対応
 - 3.1. 実状調査から見えた課題
 - 3.2. 課題への対応（調査・提言）
4. 庁システムと管理システムの将来像
5. おわりに





発表内容

1. 研究の背景

1.1. 活動内容

2. グローバルDシエサイトの使用の実状に関する調査

2.1. アンケート概要

2.2. アンケート集計結果

2.3. 活用事例

3. 現行サイト利用における課題・対応

3.1. 実状調査から見えた課題

3.2. 課題への対応（調査・提言）

4. 庁システムと管理システムの将来像

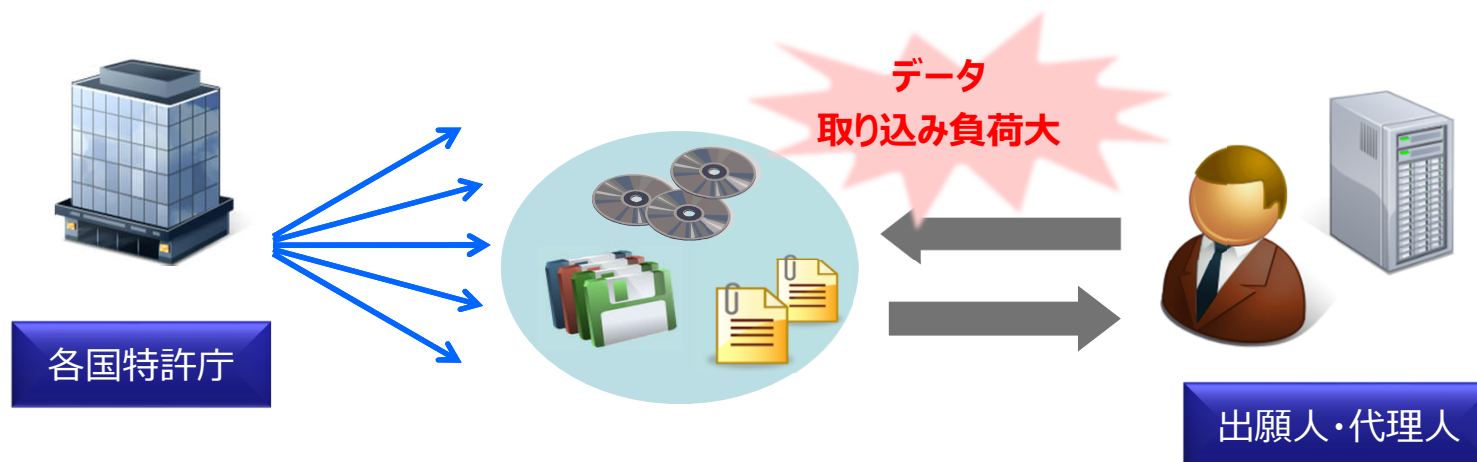
5. おわりに





1. 研究の背景

知財情報の電子的な流通および管理システムへの取り込みの現状



- 日本・・・特許庁からXML形式のデータが提供されていることで、多くの情報を手作業を介さずに電子的に管理システムに取り込める環境
- 外国・・・国ごとに書類様式や電子化方法が異なることから、知財情報の電子的流通が未だ十分な状況にない





1. 研究の背景

ユーザーがグローバルな知財情報を電子データで入手するにあたり、コストをかけずに利用できる手段として、リリースから一年以上経過したワン・ポータル・ドシエ(OPD)に着目

5大特許庁間において各国のドシエ（包袋）情報等を相互に参照できるよう一般公衆向けに提供されているサービス

JPOのワン・ポータル・ドシエ画面

案件番号を入力するとファミリー情報およびそれらの包袋を一度に参照することができる



2016年7月よりJ-PlatPatを通じてOPDのサービス開始



～世界から期待され、世界をリードするJIPA～



1. 研究の背景

JPOのワン・ポータル
・ドシエの各画面

各国の分類・引用情報

The State Intellectual Property Office of People's Republic of China

100140

北京市西城区金融街9号富凯大厦B座11层 中原信达知识产权代理有限责任公司 李兰 孙志涛

Issuing Date:

Applicant/Patentee: Brother Kogyo Kabushiki Kaisha

Title of Invention: Function executing device

The Second Office Action

1. The examiner has already received the observation submitted by the applicant on 2015-7-20, based on this, the examiner continues the substantive examination for aforesaid application for a patent for invention.

In accordance with the reexamination decision of the Patent Reexamination Board of the State Intellectual Property Office on _____, the examiner continues the substantive examination for aforesaid application for a patent for invention.

2. Upon examination, the amendment submitted by the applicant on _____ shall not be accepted for not in conformity with Rule 51.3 of the Implementing Regulations of the Patent Law.

3. Continuation of the examination is performed on the basis of the following applicant documents:

- Amended application documents attached to the aforesaid observation.
- Application documents to which the last Office Action is directed and replacement sheets of the amended application documents attached to the aforesaid observation.
- Application documents to which the last Office Action is directed.
- Application documents confirmed by the aforesaid reexamination decision.

日・中・韓書類の英訳

ファミリー一覧

ファミリー一覧と書誌情報

ファミリーID	出願番号	出願日	公開番号	公開日	登録番号	発行日
50427	JP.20120139.A	2012-03-30	JP.2013139.A	2013-10-17	JP.6019875.B2	2016-11-02
50427	EP.131577.A	2013-03-15	EP.264139.A3	2014-03-26	EP.264139.A2	2015-09-09
50427	EP.151777.A	2013-03-15	EP.295139.A1	2015-12-23	EP.295139.A1	2017-03-08
50427	US.20131323.A	2013-03-15	US.20132323.A1	2013-10-03	US.910611.B2	2015-08-11
50427	US.20151514.68.A	2015-05-07	US.20151516.A1	2015-11-05	US.982102.B2	2018-01-02
50427	US.20161615.29.A	2016-10-03	US.20170174.A1	2017-01-26	US.971921.B2	2017-10-03
50427	US.20171715.14.A	2017-08-30	US.20171712.A1	2017-12-21	-	-
50427	CN.20131310.70.A	2013-03-25	CN.103372.A	2013-10-23	CN.103372	2016-06-29
50427	CN.20161610.26.A	2013-03-25	CN.105851.A	2016-08-10	-	-

発行国/発行機関付与分類

G06F 13/00 353C	FI
H04N 1/00 107Z	FI
H04Q 7/00 685	FI
H04M 1/00 R	FI
H04Q 7/00 630	FI
H04Q 7/00 629	FI
H04W 84/10 110	FI
H04W 84/12	FI
H04W 92/08 110	FI
5B089GA13	FTERMS
5B089GA25	FTERMS
5B089GB01	FTERMS
5B089HA11	FTERMS

書類グループ ALL(すべて)

ファミリー一覧 分類・引用情報

書誌情報

ファミリー-2	ファミリー-3	ファミリー-4
国コード: EP	国コード: US	国コード: CN
出願番号: EP.131577.A	出願番号: US.20131383.23.A	出願番号: CN.2013100977.0.A
公開番号: EP.264526.A2	公開番号: US.201325810.A1	公開番号: CN.10336812.A
登録番号: EP.264526.B1	登録番号: US.910611.B2	登録番号: CN.10336812.B
出願日: 2012-03-30	出願日: 2013-03-15	出願日: 2013-03-25
2012- 特許願 (Request for a Patent)	2013- Request for grant of a European patent	2013- Information Disclosure Statement (IDS) Form (SB08)
2012- 明細書 (Description)	2013- Description	2013- Fee Worksheet (SB06)
2012- 請求の範囲 (Claims)	2013- Claims	2013- EFS Acknowledgment Receipt
2012- 要約書 (Abstract)	2013- Abstract	2013- Application Data Sheet
2012- 図面 (Drawings)	2013- Drawings	2013- Invention Publication
		2015- First search
		2015- First Office Action (First Office Action)
		2015- Argument (Argument)
		2015- Claims
		2015- Office Action (Nth Office Action)
2015- 検索報告書 (Search Report)	2013- Designation of inventor	2015- Argument (Argument)
2013- Non Patent Literature	2013- Non Patent Literature	

ファミリー (日・米・欧・中・韓) の審査状況を横並びで表示



~世界から期待され、世界をリードするJIPA~



1. 研究の背景

● 各国グローバルデータベースの基本情報

国	JPO	USPTO	EPO	SIPO	KIPO
サイト	J-PlatPat	USPTO Grobal Dossier	①Espacenet ②European Patent Register ②はEP出願があるファミリーのみ	中国特許照会システム	KIPO One Portal Dossier
言語	日本語	英語	英語、ドイツ語、フランス語	中、英、独、仏、西、葡、日、韓	韓国語 ※ブラウザの翻訳機能を使えば日本語で使用可能
収録範囲	2003/7/1以降の出願	2003/1/1以降の出願	①1978/6/1以降の出願 ②1978/1/6以降の出願	2010/2/10以降の出願	1999/1/1以降の出願
審査書類同時表示	同一ファミリー内で最大4件	1件	1件	1件	同一ファミリー内で最大5件
ファミリー一覧表示方法	「ファミリー一覧」より表示	デフォルト表示	「INPADOC Patet family」より表示	デフォルト表示	「全ファミリ」より表示
引例情報表示方法	「分類・引用情報」より表示	「Classification and Citation」より表示	「INPADOC Patent family」⇒「CCD」より表示	「Basic Information」に記載あり	「全体引用・分類」より表示 ※日本語翻訳後の名称





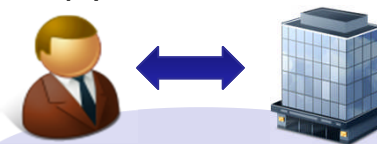
1.1 活動内容

- グローバルDシエサイトの具体的な利用実状を調査
 - ・誰が、どの様に利用しているのか
 - ・ユーザーの要望はなにかを把握



アンケートによる調査
※当委員会内

- 調査結果を分析、課題を抽出し、日本特許庁と共有
 - ・実状から見てきたと問題点と、有効利用されるための課題を分析
 - ・ユーザーが求めていることを特許庁へ提言



特許庁と共有

- グローバルDシエサイトを有効に活用する将来像を提案

グローバルDシエサイトの向上に働きかけ、
活用可能性を検討していくことで
**ユーザーの効率的且つ
正確な知財情報取得につなげる**





発表内容

1. 研究の背景
 - 1.1. 活動内容
2. グローバルDシエサイトの使用の実状に関する調査
 - 2.1. アンケート概要
 - 2.2. アンケート集計結果
 - 2.3. 活用事例
3. 現行サイト利用における課題・対応
 - 3.1. 実状調査から見えた課題
 - 3.2. 課題への対応（調査・提言）
4. 庁システムと管理システムの将来像
5. おわりに





2.1 アンケート概要

● 実施の背景

グローバルDシエサイトの周知度や利用頻度、ユーザーが感じていることが把握できていない

● 目的

利用の実情を調査・分析し、課題や要望の整理、活用可能性や将来像を検討することで、ユーザーの効率的且つ正確な知財情報取得につなげる

● 調査概要

対象 : 2017年度 情報システム委員会参加企業(32社)

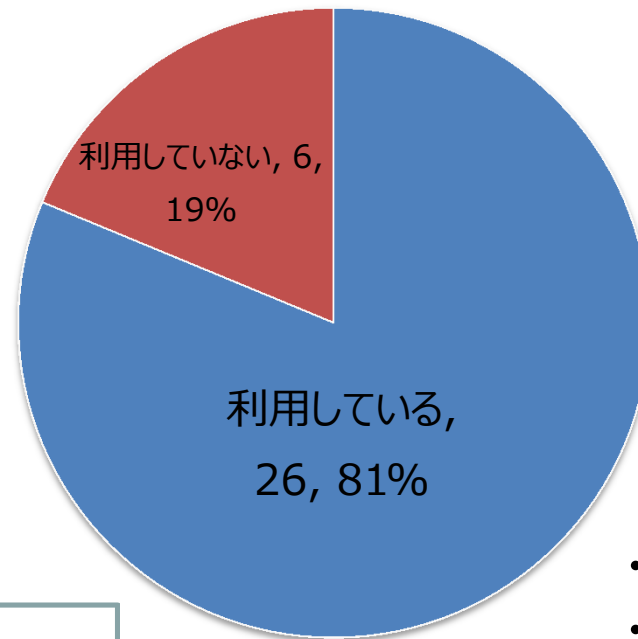
内容 : ○グローバルDシエの利用状況
○五庁サイトで主に使うサイト
○主に利用する方の担当業務種別
○利用目的 (各庁サイト別、共通)
○不便に思うこと (各庁サイト別、共通)
○欲しい機能
○知りたい事、聞きたい事、活用のアイデア





2.2 アンケート集計結果

● グローバルドシエサイトの利用状況



・利用有無,回答数,%
・回答計：32

【利用していない理由】

- ・存在が認知されていない。
- ・何ができるか分からない。
- ・US Pair等で賄えている。(特定の国)
- ・セキュリティ面が不安。

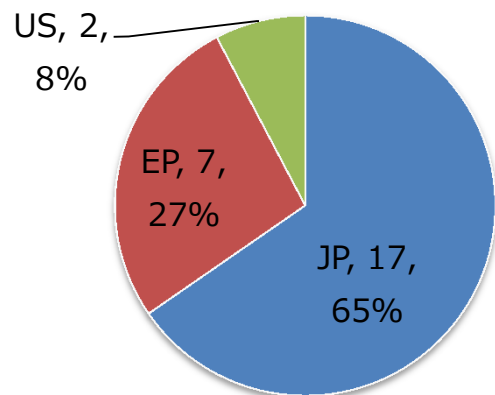
- ・多数のユーザー（8割以上）が利用している。
- ・存在 / 有効利用方法周知の課題も存在する。
- ・ファミリー横通し確認での潜在ニーズも存在する。





2.2 アンケート集計結果

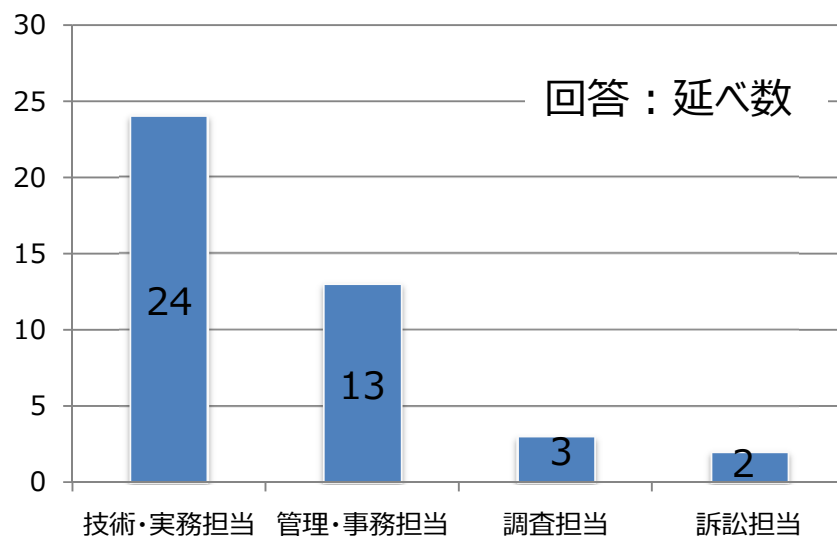
● 主に使うサイト



- ・利用サイト,回答数,%
- ・回答計：26（利用有りユーザー）

JPが多数だが、EPメインユーザーも3割程存在する。

● 利用者の担当業務

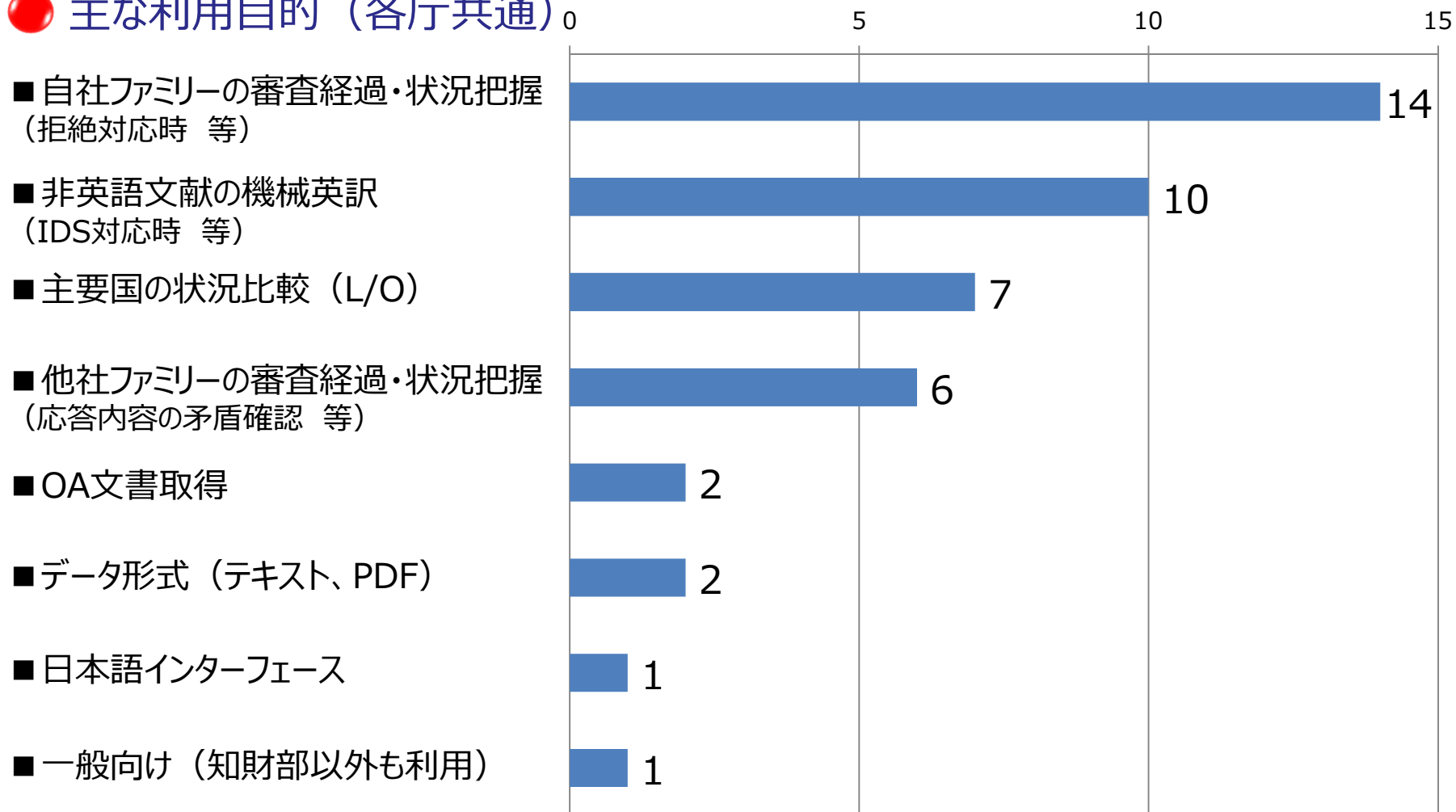


技術、管理担当の利用が多数だが、調査、訴訟担当の利用もある。



2.2 アンケート集計結果

● 主な利用目的（各庁共通）



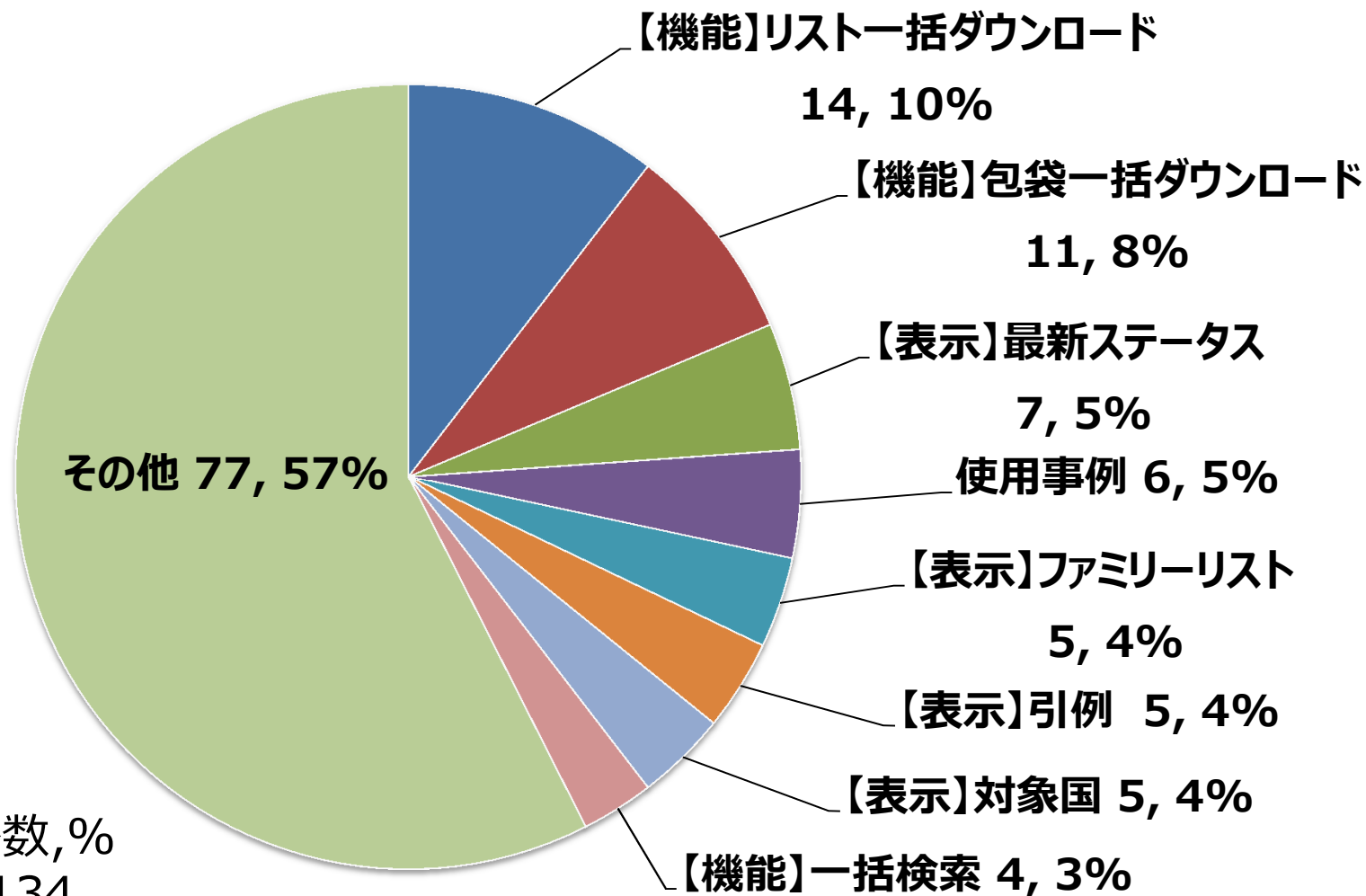
ファミリーの状況把握に利用 / 機械英訳も活用されている / 各国横並び比較で便利





2.2 アンケート集計結果

● 要望（不便に思う事 / 欲しい機能 / 知りたい事等）



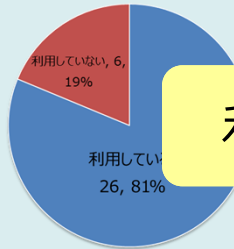
・内容,回答数,%
・回答計：134



機能や表示に関する要望が多く上がった

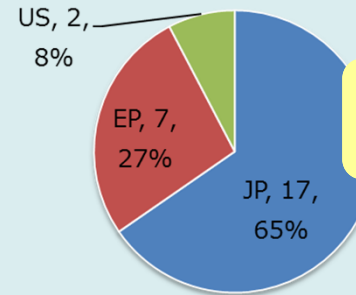


2.2 アンケート集計結果



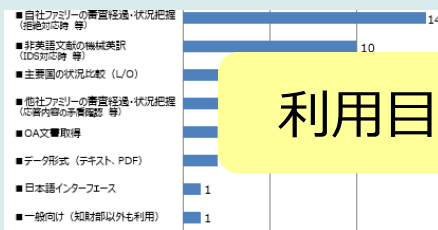
利用実績

- ・“使用経験あり”は8割を占める
- ・見方、使い方（何ができるか）に疑問も多く、**定着利用には至っていない印象**



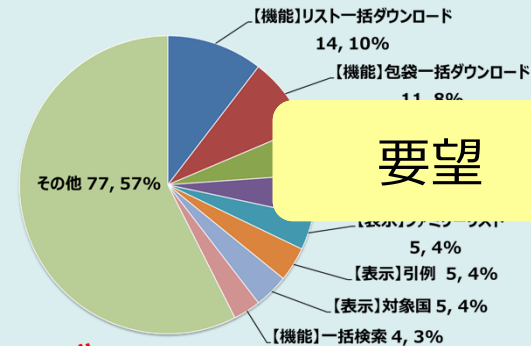
使用しているサイト

- ・JPOサイト以外（主にEPO）使用
- ・複数サイト並行して使用
- ⇒ **一つのサイトでは満足に情報を得られないまたは正確性に欠けている？**



利用目的

- ・自社案件の管理、権利化に活用している
- ⇒ **自社管理に役立つ機能の拡充がされるとユーザーメリットが大きいのでは**



要望

- ⇒ **ユーザーは多くの情報を正確に社内管理システムへ取り込むことを強く望んでいる**





2.3 活用事例

● グローバルDシエサイトの活用事例

アンケート回答より、

- ・グローバルDシエサイトをどんな時に利用しているか？
- ・利点（メリット）は何か？
- ・どのような課題があるのか？

という観点での活用事例を紹介します

活用事例	
(1)	自社のオフィスアクション(OA)応答時
(2)	他社権利への対応時
(3)	IDS、外国出願時
(4)	非英語文献の閲覧時
(5)	他者からの特許譲渡時・ライセンス時





2.3 活用事例（1）

利用シーン	自社のオフィスアクション(OA)応答時
利用目的	ファミリーで一貫性のある応答内容を迅速に作成する為。 ※先行する他国での審査状況、応答内容をベースに骨子を作成する。 ※訴訟になった際、一貫性の無い反論が矛盾した主張として問題にならないようにする。
利用するメリット	①ファミリーの審査書類を一括で確認することができる。 ※JP、KR：同一画面での比較ができる。 ※JP：書類グループでのフィルタができる。 ②引例情報のリストの取得が容易 ※IDS対応が容易になる。 ※US、EP：CCDリンクを利用できる。 ③誰でも閲覧することができる。 ※特許事務所（現地代理人）に他国の状況を説明するために利用する。
問題点	・情報が取れない場合がある。（メンテナンス？データが無い？） ・英訳が無い場合がある。（CN、KRで原語のみデータあり。）
課題	データ更新タイミング、対象データ等をユーザーが把握する必要がある





2.3 活用事例（2）

利用シーン	他社権利への対応時
利用目的	他社案件の審査過程での反論の差異を検討し、矛盾を主張する為。 ※各国OAで拒絶理由を構成する引例の比較。 ※OAに対して、対応した主張の差異を横並びで比較する。
利用する メリット	①ファミリーの審査書類を一括で確認することができる。 ※JP、KR：同一画面での比較ができる。 ※JP：書類グループでのフィルタができる。 ②引例情報のリストの取得が容易 ※US、EP：CCDリンクを利用できる。
問題点	<ul style="list-style-type: none">・5庁以外で情報が取得できる国が少ない・情報が取れない場合がある。（メンテナンス？データが無い？）・英訳が無い場合がある。（CN、KRで原語のみデータあり。）
課題	データ更新タイミング、対象データ等をユーザーが把握する必要がある。





2.3 活用事例 (1)(2)

■ 書類の一括確認

■ ファミリー情報

照会条件	ファミリー件数
出願番号 CN.2014800464.8.A	6

書類グループ ALL(すべて)

ファミリー一覧 分類・引用情報

書類グループでフィルタできる。 いいね!

ファミリー-1		ファミリー-2		ファミリー-3		ファミリー-4	
国コード	JP	国コード	US	国コード	CN	国コード	CA
出願日	2014-07-08	出願日	2014-07-08	出願日	2014-07-08	出願日	2014-07-08
提出日	書類名	提出日	書類名	提出日	書類名	提出日	書類名
	添付書類(Attached paper)	2016-02-22	Transmittal of New Application	2016-12-14	First search	2016-02-23	Abstract
	図面(Drawings)	2016-02-22	Power of Attorney	2016-12-28	First Office Action(PCT)	2016-02-23	Drawings
2015-05-28	国際公開(International Publication)	2016-02-22	Preliminary Amendment	2017-05-03	Claims	2016-02-23	Description
2015-05-28	条約19条補正(Amendments under Article 19 of the Patent Cooperation Treaty)	2016-02-22	Application Data Sheet	2017-05-03	Argument (Amendments)	2016-02-23	Claims
		2016-02-22	Abstract			2016-02-23	Claims

各国の書類を横並びで比較できる。(OAへの応答内容を比較可能) いいね!

2017- Claims 05-03

データを表示できない場合がある。 残念!





2.3 活用事例（3）

利用シーン	IDS、外国出願時
利用目的	<ul style="list-style-type: none">・米国IDS提出用文献の英訳を入手する為。・自社日本出願の審査経緯を、対応外国出願を担当する外国代理人に説明する為。
利用するメリット	<ul style="list-style-type: none">① 翻訳業務を削減する事ができる。 ※翻訳業者への依頼工数、コストを削減できる。② 迅速に内容を把握する事ができる。 ※別途の翻訳作業が不要、翻訳業者からの納品待ち無し。
問題点	<ul style="list-style-type: none">・精度が不明（精度を向上して欲しい）。・ユーザーからのフィードバック（誤記や翻訳ミス の報告）を可能にする機能が欲しい。・翻訳されていない書類がある。・翻訳されていない項目がある。（例；拒絶理由通知の発送日）・日本語への翻訳機能が欲しい。
課題	精度向上、対象書類の拡充等について、庁への要望出しが必要。



2.3 活用事例（４）

利用シーン	非英語文献の閲覧時
利用目的	中国/韓国の拒絶理由通知の内容を把握する為。
利用するメリット	<p>①翻訳業務を削減する事ができる。 ※翻訳業者への依頼工数、コストを削減できる。</p> <p>②迅速に内容を把握する事ができる。 ※別途の翻訳作業が不要、翻訳業者からの納品待ち無し。</p>
問題点	<ul style="list-style-type: none">・精度が不明（精度を向上して欲しい）。・ユーザーからのフィードバック（誤記や翻訳ミスの報告）を可能にする機能が欲しい。・翻訳されていない書類がある。・翻訳されていない項目がある。（例；拒絶理由通知の発送日）・日本語への翻訳機能が欲しい。
課題	精度向上、対象書類の拡充等について、庁への要望出しが必要。 (SIPO、KIPOへの要望)



2.3 活用事例 (3)(4)

ファミリー情報

照会条件	ファミリー件数
公開・登録番号	6
JP.61083.3.B*	

書類グループ ALL(すべて)

ファミリー一覧

分類・引用情報

ファミリー-1

国コード: CN

出願番号: CN.2014800184.A

公開番号: CN.1051028.A

登録番号: CN.1051028.A

出願日: 2014-09-23

ファミリー-2

国コード: CN

出願番号: CN.20161021.A

公開番号: CN.1051028.A

登録番号: CN.1051028.A

出願日: 2016-10-17

ファミリー-4

国コード: WO

出願番号: WO.20161021.A

公開番号: WO.20161021.A

登録番号: WO.20161021.A

出願日: 2016-11-15

提出日	書類名	提出日	書類名
2016-09-23	First search	2014-10-02	International publication pamphlet
2016-10-17	First Office Action(PCT)	2014-10-02	Copy of the translation
2017-02-17	Argument (Argument)	2014-10-02	Copy of the international search report
2017-02-17	Claims	2014-10-22	Priority document (electronically transmitted)
		2015-09-24	Information on entry into national phase

英訳をクリック

英訳が存在しない書類がある

英訳の精度に懸念がある

原文と同じフォーマットで英訳を閲覧できる

First Office Action

Applicantor Patentee HONDA MOTOR CO., LTD.

Title of Invention: Press molding apparatus and press molding method

1. Upon the request of substantive examination of the applicant, in accordance with Article 35.1 of the Patent Law, the State Intellectual Property Office performs the substantive examination for the aforesaid application for a patent for invention.

In accordance with Article 35.2 of the Patent Law, the State Intellectual Property Office proceeds to examine the aforesaid application for a patent for invention as to its substance on its own initiative.





2.3 活用事例（ 5 ）

利用シーン	他者からの特許譲渡時・ライセンス時 ※特に相手先が海外の場合
利用目的	<ul style="list-style-type: none">・譲渡・ライセンス時に不足している情報、また審査経過、ステータス情報をいち早く取得する為。・他社から譲渡された際、審査途中の案件に関し、OAの内容、引例情報などを確認する為。
利用するメリット	<ul style="list-style-type: none">①包袋の取り寄せ、情報取得費用を削減する事ができる。②迅速に内容を把握する事ができる。
問題点	<ul style="list-style-type: none">・引例情報の一括ダウンロード及び公報リンクがJPサイトではできない。・出願、審査関連情報、包袋の一括ダウンロード機能がない。
課題	情報の電子データ化など、機能向上について、庁への要望出しが必要。





2.3 活用事例 (5)

ファミリー情報

公開・登録番号	ファミリー件数	書類グループ	ALL(すべて)	ファミリー一覧	分類・引用情報
JP.20125020.7.A	20				

ファミリー-1	ファミリー-2	ファミリー-3	ファミリー-4
国コード: JP 出願番号: JP.20115260.3.A 公開番号: JP.20125020.7.A 登録番号: JP.56112.82 出願日: 2008-09-07	国コード: EP 出願番号: EP.087992.1.A 公開番号: EP.232406.1.A1 登録番号: EP.232406.31 出願日: 2008-09-07	国コード: US 出願番号: US.2990130.1.A 公開番号: US.201114.344.A1 登録番号: US.816.497.82 出願日: 2008-09-07	国コード: KR 出願番号: KR.20117007.3.A 公開番号: KR.20110076.2.A 登録番号: KR.1014423.81 出願日: 2008-09-07

提出日	書類名	提出日	書類名	提出日	書類名	提出日	書類名
	明細書(Description) 原文	2010- International publication 03-11 of the A1 Pamphlet 原文	2008- Application Data Sheet 10-29 原文				
	配列表(Sequence listing) 原文	2010- International publication 03-11 of the A1 Pamphlet 原文	2008- Preliminary Amendment 10-29 原文				
	請求の範囲(Claims) 原文						
	要約書(Abstract) 原文						
	添付書類(Attached paper) 原文	05-06 EPO 10-29 原文	2008- Applicant Arguments/Remarks Made in an Amendment 10-29 原文				
	添付書類(Attached paper) 原文	2011- Information on entry into national phase 01-14 原文	2008- Applicant Arguments/Remarks Made in an Amendment 10-29 原文				
	配列表(Sequence listing) 原文	2011- Request for entry into national phase 06-17 原文	2008- Applicant Arguments/Remarks Made in an Amendment 10-29 原文				

いいね!
引用情報が一覧で見ることができる

いいね!
包袋情報がPDFで取得できる

分類・引用情報

分類一括開く 分類一括閉じる 引用一括開く 引用一括閉じる

出願番号	公開番号	登録番号
JP.20115260.3.A	JP.20125020.7.A	JP.56112.82.B

+ 分類情報

- 引用情報

項番	カテゴリ	引用文献番号	形式	公知日	引用箇所	請求項
1		US.62945	B			
2		JP.S6228	7.A			
3		US.62945	B			
4		JP.S6228	7.A			
5		US.62945	B			
6		JP.S6228	7.A			

項番	カテゴリ	非特許文献(テキスト表示部)	引用箇所	請求項
1		,, CANCER RESEARCH, Vol.52, , 1992. . . , p.3739-3745		
2		,, THE JOURNAL OF BIOLOGICAL CHEMISTRY, Vol.266, No. 13, , 1991. . . , p.8439-8446		
3		,, Breast Cancer Research, Vol.7, , 2005. . . , p.R780-R787		

【書類名】明細書
 【発明の名称】抗拡張1型スフィンゴ糖脂質抗体、その誘導体および使用
 【技術分野】
 【0001】
 本発明は、抗拡張1型スフィンゴ糖脂質抗体と、その不適当な活性もしくは代謝に起因する、またはこれをもたらす、これを引き起こす、もしくはこれに関連する、ヒトを含む哺乳動物での疾患または障害、または例えば、結腸直腸癌などの癌または他の病態におけるこの存在の、回復、治療、または予防でのそれらの使用に関する。目的の抗体は、治療目的または診断目的で使用することができる。したがって、目的の抗体およびその誘導体を含む予防組成物、免疫療法組成物、および診断組成物ならびに、ある特定の悪性細胞などの細胞中および細胞上の拡張1型スフィンゴ糖脂質の不適切な代謝および/または発現によって引き起こされる、ヒトを含む哺乳動物の疾患を予防する、または治療する、または診断するための方法でのそれらの使用もまた開示される。
 【背景技術】

一括でダウンロードができないため、一件ずつダウンロードをする必要がある
残念

一括でダウンロードができないため、テキストコピーでしか対応できない
残念





2.3 活用事例（ご参考：各国グローバルドシエサイトの機能紹介）

庁	各案件への ダイレクトリンク	引例の ハイパーリンク	引例の ダウンロード	検索機能	文書リストの ダウンロード	書誌情報の ダウンロード	包袋の 一括ダウンロード
USPTO	—	○	○ (1件づつ) ※2	番号検索のみ	○ ※4	○	—
EPO	○	○ ※1	○ (一括) ※2,3	・番号 ・キーワード ・分類 ・日付 等 ※Advanced Search	—	○	○ ※EP案件のみ
SIPO	—	—	—	・番号 ・名称/出願人 ※CN案件のみ	—	—	—
KIPO	○	○	○ (1件づつ)	番号検索のみ	—	—	○
JPO	—	—	—	番号検索のみ	—	—	—

*1: CCD (Common Citation Document) ヘダイレクトリンク可能

*2: 引例リストをCSVダウンロード可能

*3: My patents list 経由で一括ダウンロード可能 (PDF)

*4: Collections 機能でファミリー一括ダウンロード可能 (書類名のみ/PDF形式)



各庁下記シーンで活用可能性有り

~ 引例情報取得：EPO、文書リストDL：USPTO、包袋一括DL：KIPO



2.3 活用事例（ご参考：他国庁サイトの活用紹介）

■ 引例の一括確認（CCDの活用）@EPO

Espacenet経由でCCD（Common Citation Document）を開き、ファミリーの引例を一括で閲覧&ダウンロード可能。

① Patent Family画面の CCDリンクをクリック

② 各国の引例リストを確認
※2件まで別画面で同時表示可能

③ 【Export】クリックでダウンロード可

④ リンククリックで各引例の書誌画面へジャンプ

・公報番号でダイレクトリンク可能
・localeでUI言語指定可能（日本語：jp_EP）

Espacenet画面で詳細確認可能

Timeline (1)
Export

#	CC	Cat.	Citation details
1	JP		Application N° JP201602544 (JP20162544)
2	JP		Application N° JP201505050 (JP201505050) July 2014

National Search Report

JP201301055 A (FUJI HEAVY IND LTD) - 17 January 2013
JP200633522 A (SANKO GOSEI LTD) - 14 December 2006
JPH1142951 A (TOYOTA MOTOR CORP) - 16 February 1999

https://worldwide.espacenet.com/ClassificationDetails/inpadocPatentFamily?C=JP&NR=20170778&locale=...

ApplnNrDOCDB | ApplN | PublnNr | PublnDate | Applicant

ApplnNrDOCDB	ApplN	PublnNr	PublnDate	Applicant
JP20162544	22	2013-01-17	FUJI HEAVY IND LTD	
JP20155050	28	2006-12-14	SANKO GOSEI LTD	
JP20155050	28	1999-02-16	TOYOTA MOTOR CORP	





2.3 活用事例 (ご参考：他国庁サイトの活用紹介)

■ 文書リストのダウンロード@USPTO

・文書リストの各国別ダウンロード (CSV/PDF)

①各国のDossier画面を表示して、Download Document Listをクリック

文書名、日付、Code、書類Groupを出力可能

	A	B	C	D
1	Description	Date	Code	Group
2	Request for a Patent (TRANSLATED)	08/09/2007	A63	1
3	Request for a Patent (ORIGINAL)	08/09/2007	A63-JP	unknown

・文書リストのFamily一括ダウンロード (PDF)

②Collectionsをクリック

③Downloadをクリック

①ダウンロードしたい国のAdd to★をクリック

Add to★をクリックした国の文書名リストを1ファイルで出力可能

Office	Application	Applicant	Title	App. Date	Priority #	Pub. #	Pub. Date	Action
JP	20072077	1) HONDA MOTOR CO. LTD.,	Object sensing device for vehicle	08/09/2007	JP 20072077	JP 20090420 A	02/26/2009	(3)
EP	0801414	1) Honda Motor Co., Ltd.,	Object-detection device for vehicle	08/09/2007	EP 202609	B1	03/12/2014	(5)
US	1218790			08/07/2008	JP 20072077	US 2009040501 A1 US 755797 B2	02/12/2009 07/07/2009	

Collections

- US 1218790
- EP 0801414
- JP 20072077

Collections

- US 1218790
 - Transmittal of New Application
 - Application Data Sheet
 - Specification
 - Claims



2.3 活用事例 (ご参考：他国庁サイトの活用紹介)

■ 包袋の一括ダウンロード@KIPO

各国のDossier詳細画面から包袋の一括ダウンロードが可能

패밀리 정보 전체 인용&분류

체크	국가	출원		공개	
		번호	출원일	번호	공개일
<input checked="" type="checkbox"/>	EP	EP.0801414.A	20080807	EP.2026013.A1	20090218
<input checked="" type="checkbox"/>	JP	JP.200720775.A	20070809	JP.200904011.A1	20090226
<input checked="" type="checkbox"/>	US	US.1879013.A	20080807	US.200904011.A1	20090212

심사목록 상세화면

국가정보	JP	등록번호	-
출원번호	JP.200720775.A	우선권번호	JP.200720775
공개번호	JP.5139742.2		
발명의 명칭	Object sensing device for vehicle		
출원인	HONDA MOTOR CO., LTD.		
출원일자	2007-08-09		

다운로드

문서	제출일	문서그룹	문서보기
Claims			원문
청구범위 [A6333-JP]			원문
Description [A6330-JP]			원문

③ 다운로드 버튼을 클릭

① 다운로드したい国のDossier 詳細画面を開く

조회

심사 정보 전체보기

EP 0801414 A RSS JP 200720775 A

패밀리 인용&분류 다운로드

2008.08.0 Designation of invento 원문

2007.08.0 Claims 원문

② 다운로드したい 包袋にチェック

Zipファイルでまとめて出力可能

200720775.A_20180207171901.zip

※ご参考：Google Chromeなどのブラウザーの翻訳機能を使えば日本語で使用可能





発表内容

1. 研究の背景
 - 1.1. 活動内容
2. グローバルDシエサイトの使用の実状に関する調査
 - 2.1. アンケート概要
 - 2.2. アンケート集計結果
 - 2.3. 活用事例
3. 現行サイト利用における課題・対応
 - 3.1. 実状調査から見えた課題
 - 3.2. 課題への対応（調査・提言）
4. 庁システムと管理システムの将来像
5. おわりに





3.1. 実状調査から見た課題

サービス時間は？

翻訳が完備
されていない…

ファミリーIDとは？

データの精度は…

書類はある？ない？
いつアップロードされる？

ファイルのダウンロード
が手間…

念のため別のサイトでも
確認してみよう…



ファミリーの紐付けがされ
ていないデータがある？

情報を定常的にシステムにて活用する場合、**正確性**と**信頼性**は重要
基本的なサービス環境や掲載情報の定義をユーザーが把握しておく必要がある

日常的な業務に本サイト利用を取り入れるためには、更なる**機能向上**が必要
多くのデータを不足なく且つ一度に得られるような掲載内容と機能が必要である





3.2. 課題への対応（調査・提言）

- ★ユーザーが日常的にサイトを利用するための課題を抽出し、調査を実施
- ★特許庁と課題を共有し、改善要望を具体的に提言
- ★ユーザーが実施できる対策を提案

対象とした課題（特許庁と共有）		
●	(1)	サービスタイム記載の明確化
●	(2)	ファミリー情報掲載タイミングの明確化
●	(3)	「ファミリーID」定義の明確化
●	(4)	書誌情報・書類一覧・包袋一括ダウンロード機能
●	(5)	翻訳の充実及び精度向上
	(6)	各国の最新ステータスを表示
	(7)	全ファミリーを横並びで表示
	(8)	各国の引例を見やすく表示
	(9)	複数案件の一括検索の実現
	(10)	対象国の拡張





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(1) サービスタイム記載の明確化

- **課題** 案件照会の結果でエラーとなった場合に、エラーメッセージからはエラーの理由が分からない。
※サービス時間外でのエラーか、参照不可でのエラーか区別できない。

ファミリー-1		ファミリー-2		ファミリー-3	
国コード	JP	国コード	US	国コード	CN
出願番号	JP.2016067.A	出願番号	US.201615156.A	出願番号	CN.201610207.A
公開番号	JP.2016215.A	公開番号	US.2016351.A1	公開番号	CN.106206.A
登録番号		登録番号	US.9812.B2	登録番号	
出願日	2016-03-29	出願日	2016-05-18	出願日	2016-04-06
提出日	書類名	提出日	書類名	提出日	書類名
2016-03-29	特許願(Request for a Patent)	2016-05-18	Power of Attorney		
	原文 英訳		原文		該当する文献の情報が取得できませんでした。
			原文		
			原文		
			原文		
			原文		
			原文		
			原文		

■ 各国ドシエサイト(参照元)から他国(参照先)データ参照時の現状

- ・JPO、EPO、USPTO、KIPOから → JPO、EPO、USPTO、KIPO参照時
参照先の各国庁がサービス時間外の場合、データは表示されない。
※「データが取得できませんでした」などのエラーメッセージが表示される。
- ・JPO、EPO、USPTO、KIPOから → SIPO参照時
SIPOがサービス時間内でも、書類参照はエラーとなる場合が多い。
※データの存在は表示される。
- ・SIPOから → JPO、EPO、USPTO、KIPO参照時
参照先の庁がサービス時間外の場合でも、データが表示されることがある。

なぜ？





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(1) サービスタイム記載の明確化

- **調査**
 - ① 各国庁サイトで自国、他国のドシエサイトのサービスタイムに関する記載を確認。
 - ・掲載サイトによって対象国、時刻形式、内容が異なる。
 - ・日本ユーザーが各国ドシエサイトの稼働状況を把握することは難しい。
 - ② 日本時間での各国ドシエサイトのサービスタイム一覧を作成。

◆ 各国庁サイトに掲載されているサービスタイムに関する情報(2017年8月時点)

情報 \ サイト	JPO	EPO	USPTO	KIPO	SIPO	IP5
他国情報	自国のみ	自国のみ	5庁全て	5庁全て	5庁全て	5庁全て
各国サイトの時刻形式	日本標準時(JST)	中央ヨーロッパ標準(CET)	米国東部標準時(EST)	韓国標準時(KST)	各国の標準時(JST,EST,CET,KST,CST)	各国の標準時(JST,EST,CET,KST,CST)
例) 各国庁でのJPOのサービスタイムに関する記載	サービス停止期間 土、祝日(前日が平日) 07:00-24:00 日、祝日(前日が土、日) 00:00-24:00 月、祝日後の平日 00:00-08:00 毎日 04:00-04:15	記載見つからず	月 11:00-15:00 15:15-23:59 火、水、木 00:00-15:00 15:15-23:59 金 00:00-15:00 15:15-18:00 日 19:00-23:59	平日(月～金) 08:00-00:00 土 00:00-07:00	平日(月) 08:00-22:00 (JST) 平日(火～金) 07:00-22:00 (JST)	サービス停止期間 土、祝日(月～金) 07:00-24:00 日、祝日(土、日) 00:00-24:00 月 00:00-08:00 休日後の平日 00:00-08:00 毎日 04:00-04:15





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(1) サービスタイム記載の明確化

◆ 稼働時間一覧(日本時間) 3月最終日曜日～10月最終日曜日の期間

	JPO	EPO	USPTO	SIPO	KIPO	ファミリー情報 停止時間（五庁共通）
月	08:00 - 24:00	00:00 - 12:00 12:15 - 24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	12:00-12:15
火	01:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 12:00 12:15 - 24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-01:00 12:00-12:15
水	00:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 12:00 12:15 - 24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-18:00 19:00-24:00	12:00-12:15
木	01:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 12:00 12:15 - 24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-01:00 12:00-12:15
金	00:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 12:00 12:15 - 24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	12:00-12:15
土	00:00 - 04:00 04:15 - 07:00	00:00 - 12:00 12:15 - 24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	00:00-24:00	12:00-12:15
日	-	00:00 - 12:00 18:00 - 24:00	00:00-24:00	-	09:00-21:00	00:00-01:00 12:00-12:15

◆ 稼働時間一覧(日本時間) 3月最終日曜日～10月最終日曜日以外の期間

	JPO	EPO	USPTO	SIPO	KIPO	ファミリー情報 停止時間（五庁共通）
月	08:00 - 24:00	00:00 - 13:00 13:15 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	13:00 - 13:15
火	00:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 13:00 13:15 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	01:00 - 02:00 13:00 - 13:15
水	00:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 13:00 13:15 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 18:00 19:00 - 24:00	13:00 - 13:15
木	00:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 13:00 13:15 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	01:00 - 02:00 13:00 - 13:15
金	00:00 - 04:00 04:15 - 24:00	00:00 - 13:00 13:15 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	13:00 - 13:15
土	00:00 - 04:00 04:15 - 07:00	00:00 - 13:00 13:15 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	00:00 - 24:00	13:00 - 13:15
日	-	00:00 - 13:00 19:00 - 24:00	00:00 - 24:00	-	09:00 - 21:00	01:00 - 02:00 13:00 - 13:15



サマータイムを導入している国の影響で、期間によって日本時間での稼働時間が異なる。



3.2. 課題への対応（調査・提言）

(1) サービスタイム記載の明確化

- **提言** 日本ユーザーが各国ドシエサイトの稼働時間を把握することが難しい状況を特許庁へ共有するとともに、日本特許庁へサービスタイムの掲載内容を充実するように提案を行った。

■ ドシエメンテナンス情報（JP） 2017年8月

提言により充実！

2017年12月

< サービス時間の情報 >
 ワン・ポータル・ドシエ（OPD）照会には時間帯によって以
 全サービスの停止時間
 次の時間帯は、OPDの全サービスがご利用いただけません
 ・土日祝日（前日が平日の場合は朝7時まで利用可）
 ・土日祝日の翌平日の朝8時まで
 ・火～土の午前4:00～4:15のうち数分間

ファミリー情報サービス停止時間
 OPDのトップページで文献番号を入力した案件のみが表示されます。
 ・月～土の昼13:00～13:15（12:00～12:15）
 ・日曜の昼13:00～14:00（12:00～13:00）

特定庁のサービス停止時間
 次の時間帯は、特定庁のドシエ情報が取得できません。
 EPO 土曜午後11:00～日曜午前4:00
 （土曜午後10:00～日曜午前3:00）
 KIPO 水曜午後6:00～午後7:00
 日曜午前0:00～午前10:00、午後9:00～深夜0:00

※いずれも日本時間です。
 ()内は欧州がサマータイムの期間(3月最終日曜から10月最終日曜)です。

なお、時刻については処理の都合上、前後する場合があります。
 また、各国の書類情報については、提供している国毎のシステムの不定期のメンテナンス等により、利用不可となる場合がございます。

< サービス時間の情報 >

ワン・ポータル・ドシエ（OPD）照会は、以下の時間帯に利用することができませんので、ご注意くださいようお願いいたします。

- 土日祝日(ただし、前日が平日の場合は、朝7時まででは利用可)、及びそれらの日の翌平日の朝8時まで
- 火～土の4:00～4:15のうち数分間
- 3月最終日曜から10月最終日曜の期間については、
12:00～12:15(毎日)、0:00～1:00(火、木)
- 上記以外の期間については、
13:00～13:15(毎日)、1:00～2:00(火、木)

なお、時刻については処理の都合上、前後する場合があります。
 また、各国の書類情報については、提供している国毎のシステムの不定期のメンテナンス等により、利用不可となる場合がございます。
 データ更新のタイムラグ等により、最新の書類が照会できない場合等がございますので、ご了承ください。

ファミリー情報の停止期間を明確化

他国庁の停止期間を追加





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(2) ファミリー情報掲載タイミングの明確化

● **課題** 日本出願と対応外国出願がファミリーとして抽出されない時期がある。

事例：

日本の国内優先出願について、公開後に JPOドシエサイトを確認したところ、同時に 出願したEP、USがファミリーとして抽出されない。



ファミリーとして紐づけされていない

JP(国内優先)

ファミリー情報

照会条件	ファミリー件数
出願番号 JP.20170069 A	1

1

ファミリー1

国コード JP

出願番号 JP.20170069 A

公開番号

登録番号

出願日

ワンポータル画面更新 クリア

提出日 2017- 特許 (2017-07-05)

表示	国コード	ファミリーID	出願番号
<input type="checkbox"/>	JP	-	JP.20170069 A

EP US

ファミリー情報

照会条件	ファミリー件数	書類グループ	ALL(すべて)
公開・登録番号 EP.32702 A1	2		

2

ファミリー1

ファミリー2

国コード EP

国コード US

出願番号 EP.1717968 A

公開番号

登録番号

出願日

ワンポータル画面更新 クリア

提出日 2017- Request for Publication (2017-07-05)

表示	国コード	ファミリーID	出願番号
<input type="checkbox"/>	EP	5929827	EP.1717968 A
<input type="checkbox"/>	US	5929827	US.201715641 21.A

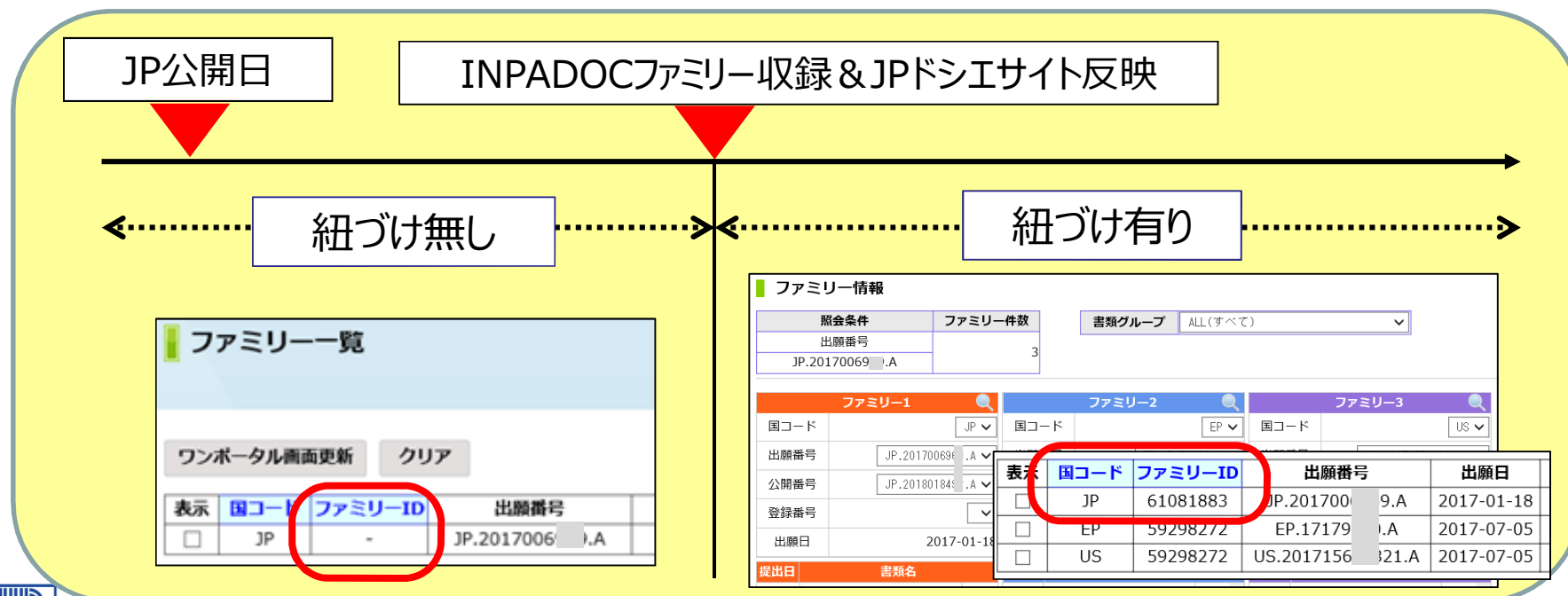




3.2. 課題への対応（調査・提言）

(2) ファミリー情報掲載タイミングの明確化

- **調査** ファミリーとして紐付けされるタイミングを確認。
 - ・INPADOCファミリーに収録されると、ファミリーとして紐づけされる。
 - ・INPADOCファミリーに収録するまでは、JPドシエサイトのファミリー情報のファミリーID欄に「-」が表示される。
 - ・ファミリーとして紐づけされるタイミングは、各国の休日等により変動するが、概ねJP公開日(毎週木曜日)の2週間後の週明けになる。
- **対策** ファミリー一覧でファミリーIDが設定されているかを確認する。





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(3) 「ファミリーID」定義の明確化

- **課題** 『ファミリー一覧』に記載されている「ファミリーID」をファミリー管理に活用したいが、「ファミリーID」の定義が分からない。
- **調査** 特許庁へ「ファミリーID」の定義を確認。
 - ・「ファミリーID」は、EPOが付与している同一の優先権をもつシンプルファミリーで構成される。
 - ・『ファミリー一覧』は拡張型ファミリーに基づくため、『ファミリー一覧』において、複数の「ファミリーID」が表示される場合ある。
- **提言** ファミリー管理のため、『ファミリー一覧』に対応する拡張型ファミリーID付与の要望があることを特許庁へ共有するとともに、「ファミリーID」に関する定義を明記するよう提案を行った。

※拡張型ファミリーとは、特許ファミリーのより広い定義で、INPADOCが独自に認定した実質的ファミリー(技術的内容 他)

ファミリー一覧 閉じる

定義を明記 (イメージ)

拡張型ファミリーIDの追加 (イメージ)

※ファミリーIDは、EPOが付与している同一の優先権をもつシンプルファミリーで構成される

拡張型ファミリーID	表示	国コード	ファミリーID	出願番号	出願日	公開番号	公開日	登録番号	発行日
XXXXXXXXXX	<input type="checkbox"/>	JP	45928494	JP.2013530000.A	2011-10-10	JP.2013540042.A	2013-11-14	JP.6157300000.B2	2017-07-05
	<input type="checkbox"/>	JP	45928494	JP.2016200000.A	2016-10-20	JP.2017100000.A	2017-06-22	-	-
	<input type="checkbox"/>	JP	48082257	JP.2014530000.A	2012-04-10	JP.2015500000.A	2015-01-15	JP.6076300000.B2	2017-02-08
	<input type="checkbox"/>	JP	48082257	JP.2017000000.A	2017-01-10	JP.2017100000.A	2017-08-03	-	-
	<input type="checkbox"/>	EP	45928494	EP.1183100000.A	2011-10-10	EP.2624000000.A4	2015-06-10	-	-
	<input type="checkbox"/>	EP	45928494	EP.1183100000.A	2011-10-10	EP.2624000000.A2	2013-08-14	-	-
	<input type="checkbox"/>	EP	48082257	EP.1283900000.A	2012-04-10	EP.2766000000.A1	2014-08-20	-	-
	<input type="checkbox"/>	EP	48082257	EP.1283900000.A	2012-04-10	EP.2766000000.A4	2015-06-10	-	-



3.2. 課題への対応（調査・提言）

(3) 「ファミリーID」定義の明確化

- **課題** JP案件を照会した場合、『ファミリー情報』のファミリー 1 に照会時に入力した案件と異なる案件が表示されることがある。
- **調査** ファミリー 1 には、『ファミリー一覧』の最上段の案件が表示されることを確認。
- **対策** 照会条件とファミリー 1 の「出願番号」が一致しているかを確認し、異なる案件が表示されている場合は、「出願番号」をプルダウンで選択し表示する。

ファミリー情報

照会時に入力した案件

照会条件

出願番号	件数	書類ク
JP.20162056.A	28	

ファミリー1

国コード	JP	国コード	
出願番号	JP.2013533010.A	出願番号	
公開番号	JP.201451709.A	公開番号	
登録番号	JP.2016205689.A	登録番号	

- ・最上段の案件が表示される
- ・プルダウンから選択し表示切替できる

ファミリー一覧

ワンポータル画面更新 クリア

表示	国コード	ファミリーID	出願番号	出願日	公開番号
<input type="checkbox"/>	JP	45928494	JP.2013533010.A	2011-10-10	JP.201354102.A
<input type="checkbox"/>	JP	45928494	JP.2016205689.A	2016-10-20	JP.201710918.A
<input type="checkbox"/>	JP	480822			
<input type="checkbox"/>	JP	480822			
<input type="checkbox"/>	EP	459284			EP.26248.A2

ファミリー 1 に表示される案件





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(4) 書誌情報・書類一覧・包袋一括ダウンロード機能

- 課題 現状は一括ダウンロードができないため、包袋を一件ずつダウンロードしたり、引例一覧をテキストコピーするなどの対応が必要。

- 調査 一括ダウンロード機能の具体的な仕様を検討。
 - 案件検索仕様
 - ・検索項目を論理演算可能にする。（例；番号×キーワード）

 - 書誌関連DL項目追加
 - ・書誌系：ファミリーID、CPC、USC、四法
 - ・審査経過系：延長期間
 - ・引例等関連公報：引用/被引用文献の起案日 & 引用種別、拒絶理由条文
 - ・その他：EP移行国のLegal StatusとStatus変化日付情報、IDS提出済案件

- 提言 一括ダウンロード機能（書誌等各種情報、検索結果、包袋）への要望が多い事を特許庁へ共有するとともに、具体的な仕様の提案を行った。



3.2. 課題への対応（調査・提言）

(4) 書誌情報・書類一覧・包袋一括ダウンロード機能

■ 検索結果DL

ワン・ポータル・ドシエ (OPD) 照会 ◀ 前画面へ戻る ? ヘルプ

文献番号から世界各国の特許庁が保有する出願・審査関連情報

ファミリー情報

照会条件	ファミリー件数
公開・登録番号	3
JP.20090420...A	

全ファミリーの一括チェック

チェックしたファミリーの検索結果（書類一覧）をダウンロード

グループ ALL(すべて)

Select all (1/3) Export (CSV|XLS)

ファミリー1	ファミリー2	ファミリー3
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国コード JP	国コード EP	国コード
出願番号 JP.2007207...A	出願番号 EP.08014...A	出願番号
公開番号 JP.2009042...A	公開番号 EP.20260...A1	公開番号 US.2009040...A1

ファミリーごとのチェックボックスを配置

■ 包袋DL

ファミリー1	ファミリー2
国コード JP	国コード EP
出願番号 JP.2007207...A	出願番号 EP.08014...A
出願日 2007-08-09	出願日 2008-08-07

チェックした包袋を1PDFでダウンロード

チェックした包袋を個別PDFでダウンロード

全包袋（ファミリー単位）の一括チェック

包袋ごとのチェックボックス

提出日	書類名	原文	英訳
<input checked="" type="checkbox"/> 2007-08-09	特許願(Request for a Patent)	原文	英訳
<input type="checkbox"/> 2007-08-09	請求の範囲(Claims)	原文	英訳
<input checked="" type="checkbox"/> 2008-08-07	Request for grant of a European patent	原文	
<input checked="" type="checkbox"/> 2008-08-07	Request for grant of a European patent		原文





3.2. 課題への対応（調査・提言）

(5) 翻訳の充実及び精度向上

- **課題** 翻訳ミス、翻訳対象になっていないデータ／文書の存在、運用体制が不明（ユーザーからのフィードバックの反映可否等）。
- **調査** 翻訳機能に関して下記を実施。
 - 情報システム委員会内アンケートより、機能改善項目を抽出
 - ・精度向上
 - ・翻訳対象拡大（拒絶理由の発送日、審判系書類）
 - ・日本語への翻訳機能
 - ・ユーザーからのフィードバックを反映可能にする機能
 - 特許庁特許情報室からの機械翻訳に関するヒアリングへの対応
以下3つの観点で、ユーザーの利用経験・用途等についてヒアリングの要請があり、情報システム委員の意見取り纏めを行った。
 - 1.日本語から外国語への翻訳について
 - 2.外国語から日本語への翻訳について
 - 3.その他（特許庁の機械翻訳の取り組みについて）
- **提言** ヒアリング結果を特許庁と共有するとともに、アンケートより抽出された改善要望の提案を行った。

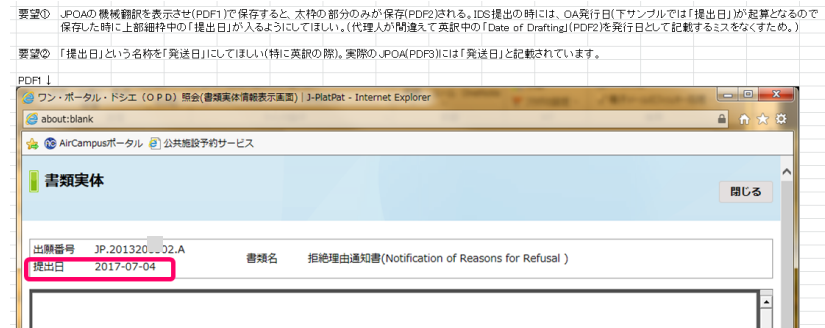


3.2. 課題への対応（調査・提言）

(5) 翻訳の充実及び精度向上

■ アンケートまとめ（機能改善項目抽出）

大分類	中分類	小分類	内容
データ	精度	機械翻訳	機械翻訳の精度が不明 ・発明者氏名・・・日本:鈴木健太郎→英訳:Taro SUZUKI, Takeshi
全体	運用	フィードバック	ユーザからのフィードバック(誤記や翻訳ミスを報告などを可能とする機能(EspaceNetのような機能)
全体	運用	データチェック	誰がどういった方法で英訳を行い、その内容が誰がチェックをしているのか? その内容は変動するのか、しないなら現状の誤記等はどうのように扱われるのか? 各国のデータで相互の情報を補填するような取り組みはないのか? (発明者氏名など)
データ	英訳	発送日	拒絶理由通知書における「発送日」が英訳対象になっていない。英訳対象にしてほしい。
データ	英訳	審判系書類	審判系書類(例えば 審決)が英訳対象になっていないと思います。英訳対象にしてほしい。
操作/機能	言語	邦訳	各国書類の日本語訳機能があればよい(但し、原本がPDFなので無理かもしれないが…)
データ	英訳	全文	全文文が欲しい。(各国間の権利内容の違いがはざりすぎる為)
操作/機能	言語	邦訳	外国文書の邦訳作成機能
データ	精度	機械翻訳	精度の高い翻訳文



■ ヒアリングへの対応

JIPA（一般社団法人 日本知的財産協会）御中

特許情報室では、言語の壁を取り除くべく機械翻訳の活用から、翻訳に関する施策を進めているところです。今後、備するため、一般ユーザの皆様のご意見を参考にさせていただきます。この進め方について検討していきたいと、以下の点について考えておりますので、よろしくお願いいたします。

A	B	C
1. 日本語から外国語への翻訳について		
(1) 日本公報の日英機械翻訳について		
	① 公報情報の日英機械翻訳の利用経験・利用頻度・利用用途について	USのIDS対応での活用。日本語公報の英訳を取得する用途で利用。
	② 公報情報の機械翻訳品質を向上させることによるユーザメリットについて	機械翻訳利用拡大により、マニュアル翻訳費用を削減できる。
	③ 公報情報の日英機械翻訳の取り組みに対する意見・要望等	





発表内容

1. 研究の背景
 - 1.1. 活動内容
2. グローバルDシエサイトの使用の実状に関する調査
 - 2.1. アンケート概要
 - 2.2. アンケート集計結果
 - 2.3. 活用事例
3. 現行サイト利用における課題・対応
 - 3.1. 実状調査から見えた課題
 - 3.2. 課題への対応（調査・提言）
4. 庁システムと管理システムの将来像
5. おわりに





4. 庁システムと管理システムの将来像

グローバルシエサイトの具体的な利用実状を調査

- ・誰が、どの様に利用しているのか
- ・ユーザーの要望はなにかを把握

- ★ アンケート
- ★ 集計結果の分析
- ★ 活用事例の分析

実施

調査結果を分析、課題を抽出し、日本特許庁と共有

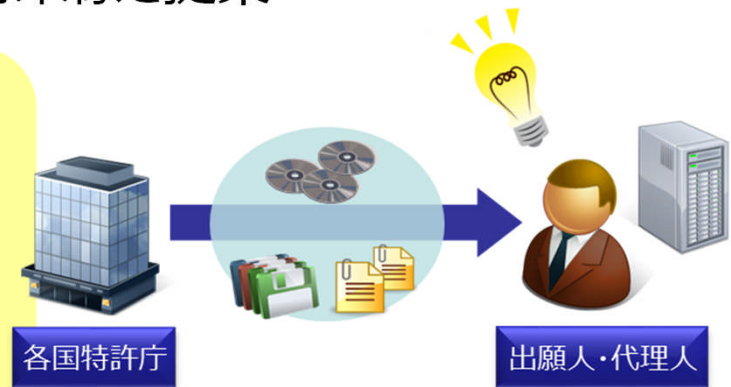
- ・実状から見てきたと問題点と、有効利用されるための課題を分析
- ・ユーザーが求めていることを特許庁へ提言

- ★ 本質的な課題の明確化 <ユーザーにとって何が一番必要なのか>
- ★ 課題解決のための調査
- ★ 特許庁への提言

実施

グローバルシエサイトを有効に活用する将来像を提案

グローバルシエサイトの向上に働きかけ、
活用可能性を検討していくことで
**ユーザーの効率的且つ
正確な知財情報取得につなげる**





4. 庁システムと管理システムの将来像

**システムの進化
ユーザー意識の変化**



実

I. システム連携のイメージ (全体構成)

II. 包袋管理における変化とメリット

III. 書誌データ管理における変化とメリット

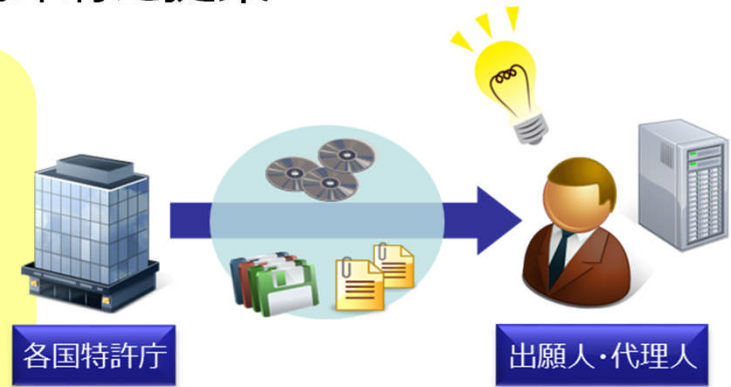
実施

知財管理システムのあるべき姿 <将来像> を検討

- グローバルDシサイトを有効に活用する将来像を提案

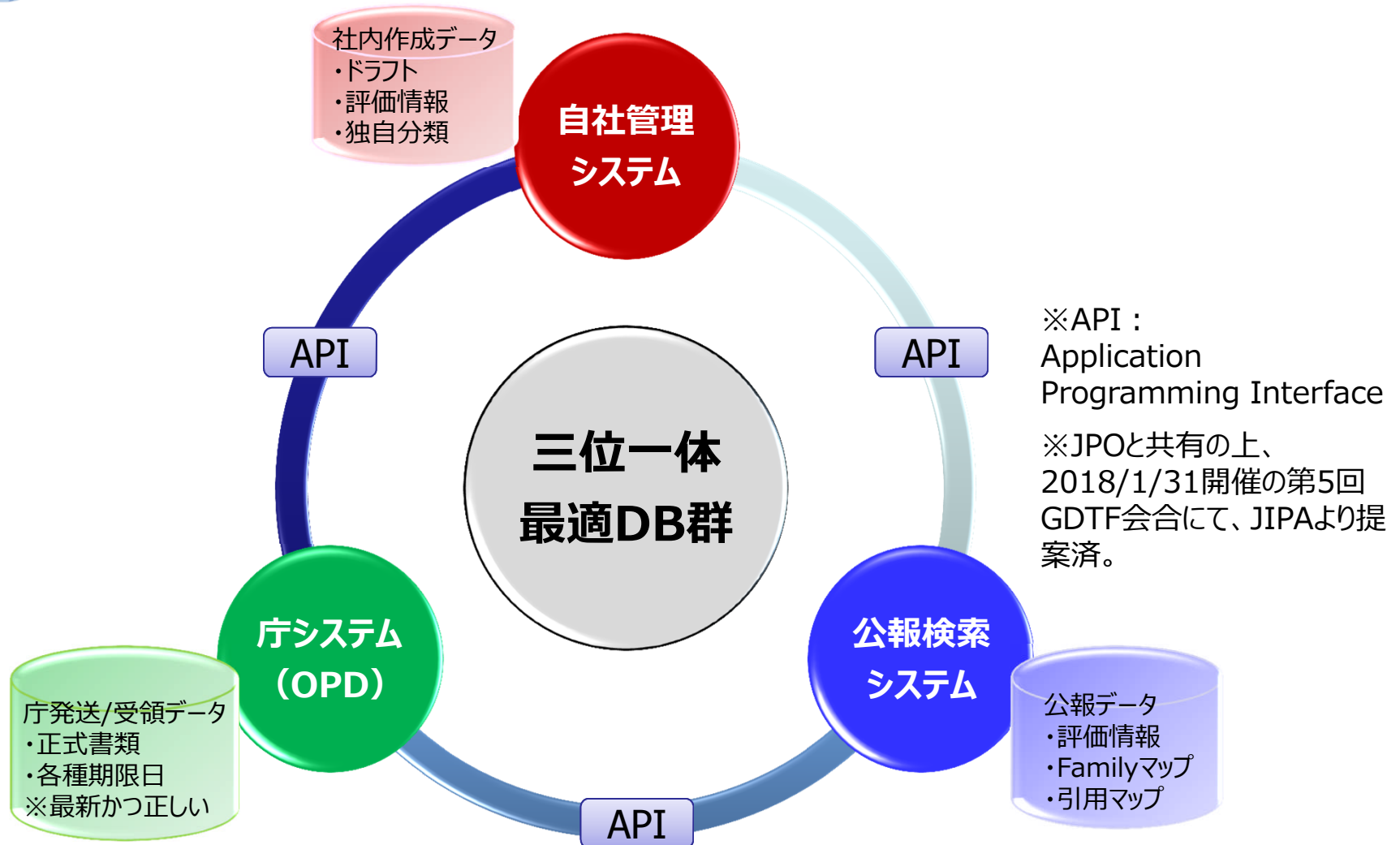
グローバルDシサイトの向上に働きかけ、活用可能性を検討していくことで

**ユーザーの効率的且つ
正確な知財情報取得につなげる**





4. 庁システムと管理システムの将来像



相互補完・重複排除により、最少工数で最大効果を発揮
 ・同じ情報を重複して保管する必要がなくなる。(インフラリソースの適切化)
 ・漏れ無く、タイムリーにデータ閲覧・利用が可能になる。





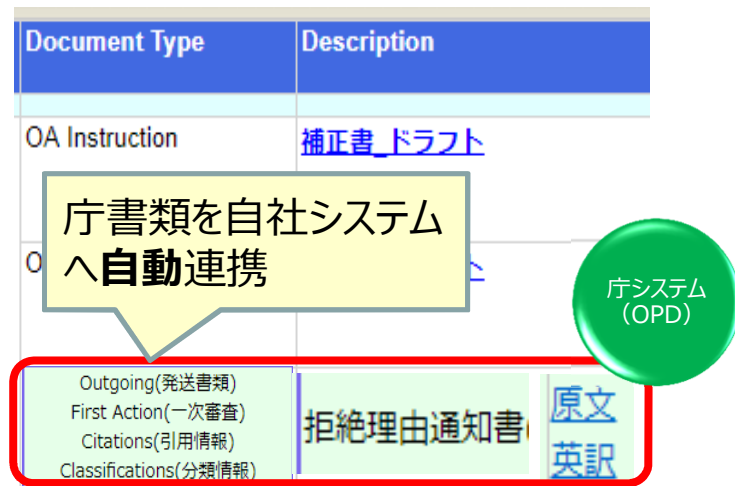
4. 庁システムと管理システムの将来像

● 自社管理システムにおける変化点（包袋管理）

【API連携前（現状）】



【API連携後（将来）】



● 自社管理システムにおけるメリット（包袋管理）

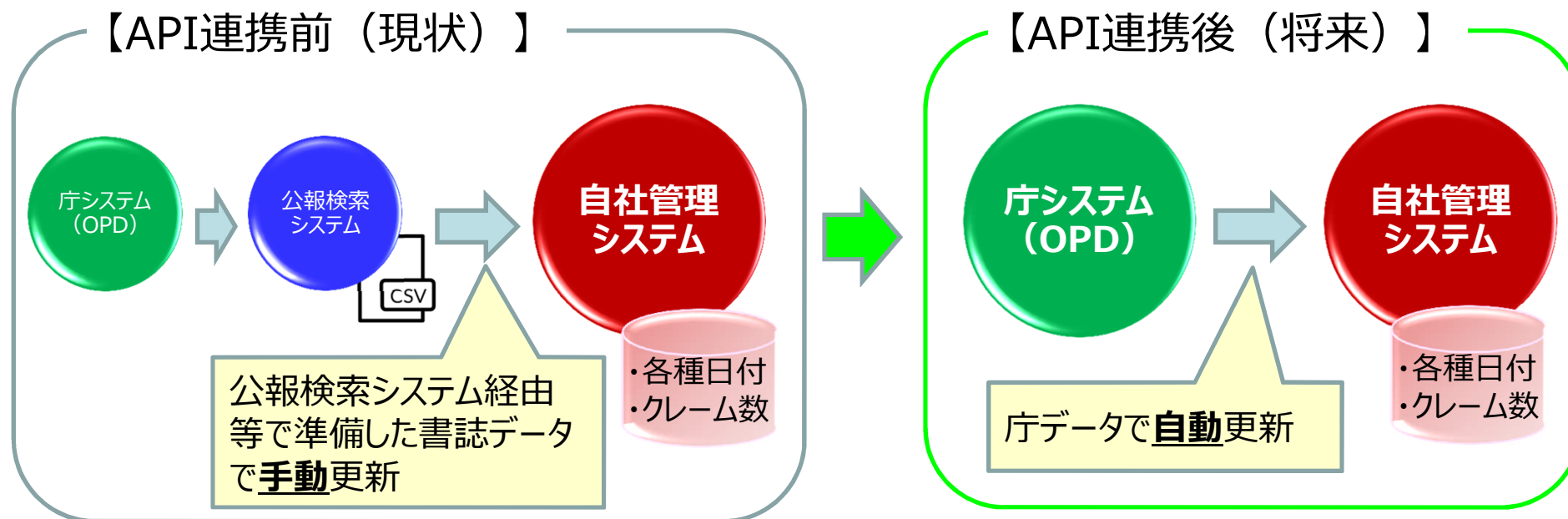
- ・同じ情報を重複して保管する必要がなくなる。（インフラリソースの適切化）
- ・漏れ無く、タイムリーにデータ閲覧・利用が可能になる。





4. 庁システムと管理システムの将来像

● 自社管理システムにおける変化点（書誌データ更新）



● 自社管理システムにおけるメリット（書誌データ更新）

- ・審査請求等の際に正しいデータによる手続きが担保される。
（補正指令発行を減らせる為、庁側負荷の低減が期待される。）
- ・漏れ無く、齟齬無く、タイムリーにデータ閲覧・利用が可能になる。
- ・データクリーニング作業を最小化できる。





発表内容

1. 研究の背景
 - 1.1. 活動内容
2. グローバルDシエサイトの使用の実状に関する調査
 - 2.1. アンケート概要
 - 2.2. アンケート集計結果
 - 2.3. 活用事例
 - 2.4. 考察
3. 現行サイト利用における課題・対応
 - 3.1. 実状調査から見えた課題
 - 3.2. 課題への対応（調査・提言）
4. 庁システムと管理システムの将来像
5. おわりに





5. おわりに

● グローバルDシエサイトの具体的な利用実状を調査

当委員会内で実施したアンケートの結果より、グローバルDシエサイトを活用されているものの、様々な課題があることが分かった。

● 調査結果を分析、課題を抽出し、日本特許庁と共有

ユーザーにとってのメリットを考慮し、サービスタイムやデータの定義等を調査し、現状の課題に関し日本特許庁と情報を共有、さらに一括ダウンロード機能拡充や翻訳機能向上について提言した。

● グローバルDシエサイトを有効に活用する将来像を提案

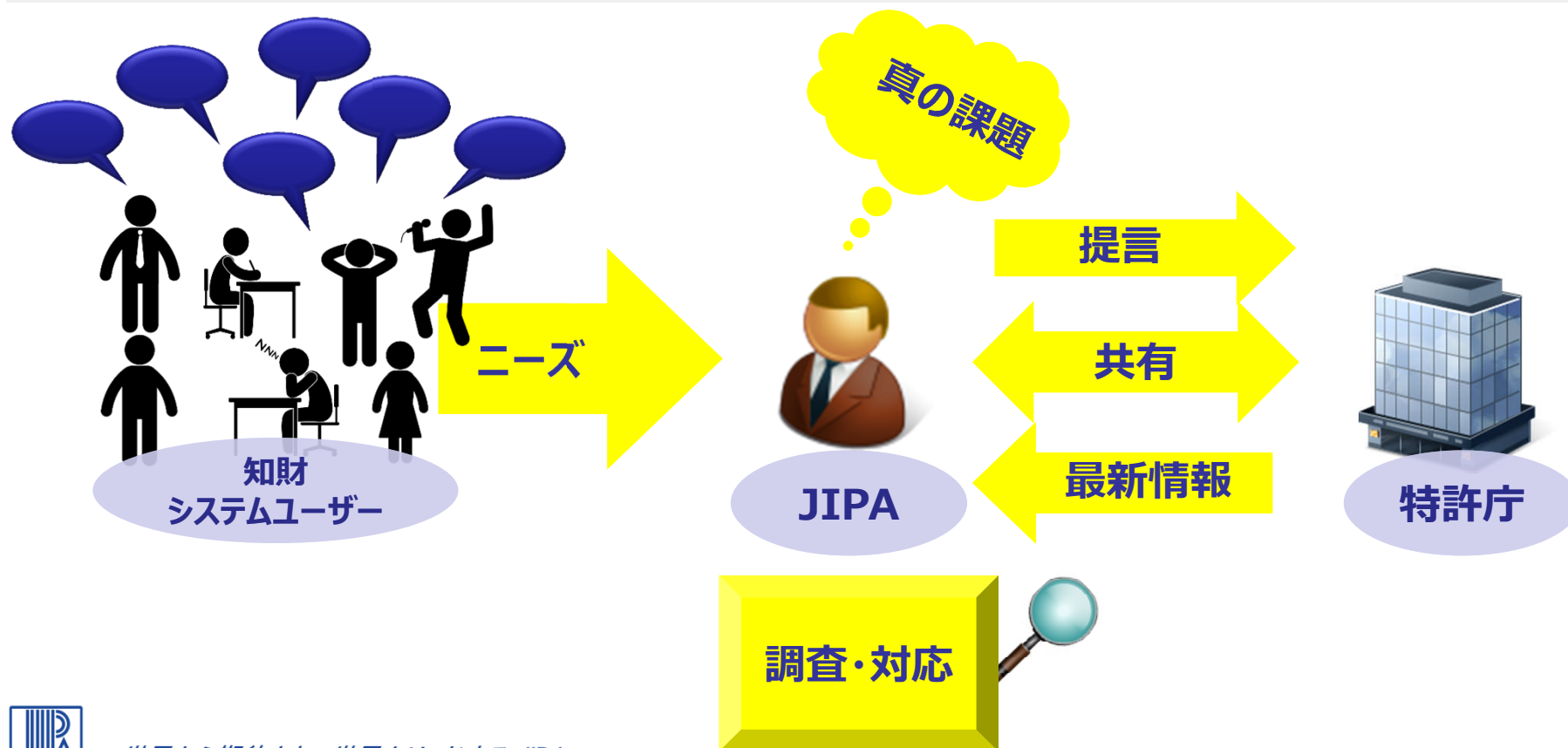
システムの進化やユーザー意識の変化に踏まえ、知財管理システム、公報検索システム、庁システムのAPI連携により最適化された知財情報の有効活用の将来像を提言した。





5. おわりに

今後も、タイムリーに収集したユーザーニーズからユーザーメリットの大きい真の課題を抽出し、課題解決のための調査・対応を実施するとともに、特許庁との連携を図り、知財システムの短期～中長期的な改良によって〈将来像の実現〉がされるよう、引き続き積極的に働きかけていきます!!





ご清聴ありがとうございました。



～世界から期待され、世界をリードする JIPA ～